

用 地 係

国土交通省が発表した地価公示によると、年間における市内の標準値の地価変動率は、平均 1.1 パーセントの下落となった。

これは、日本経済が大企業を中心に景気回復の兆しが見られるものの依然厳しい企業も見受けられる状況にあり、金融機関における融資の規制も緩和され、また土地取引も少しずつ活発となっている結果と思われる。

昨年に比べても地価の下落は続いているが、住宅地、商業地とも下落幅が縮小している状況である。

住宅用地については、金利、税制の両面から住宅取得の促進が図られているため、取引自体は活発になってきている。

公共事業を円滑に推進していくためには、その事業に必要な用地を迅速かつ確実に取得していかなければならないが、地価は、この数年間下落を続けたとはいえ依然として高値であるため、積極的に土地を売る気配がなく、たとえ公共事業であっても土地所有者にメリットがない場合は、協力を得るのに困難な状況にある。

このような中で、本年度は、中福生公園拡張事業用地、市道第 1028 号線改良事業用地のほか狭あい道路用地を取得した。

名 称	買 収 用 地				物 件 等 補 償		備 考
	所有者数	筆数	面積 (m ²)	金額 (円)	所有者数	金額 (円)	
市道第1028号線改良事業	1	1	154.38	22,291,803			公社から買戻し
中福生公園拡張事業	1	3	1,599.07	179,095,840			公園緑地
市道第 244 号線改良整備事業	2	3	62.40	2,582,160	1	71,232	市道改良事業(狭あい道路)
市道第 1082 号線拡幅整備事業	2	2	14.12	409,480			"
市道第 99 号線拡幅整備事業	1	1	8.29	240,410	1	661,106	"
市道第 1019 号線拡幅整備事業	1	1	17.02	493,580			"
市道第 279 号線拡幅整備事業	2	3	1.68	48,720	2	57,382	"
市道第 1147 号線拡幅整備事業	1	1	29.77	863,330	1	480,270	"
市道第 1167 号線拡幅整備事業	1	1	2.59	241,120	1	212,932	"
市道第 1171 号線拡幅整備事業	1	1	1.95	189,690			"
市道第 163 号線拡幅整備事業	2	4	72.97	2,883,360	1	367,712	"
市道第 132 号線拡幅整備事業	1	1	10.69	310,010	1	918,829	"
市道第 196 号線拡幅整備事業	1	1	20.63	598,270			"
市道第 265 号線拡幅整備事業	1	1	35.76	1,037,040	1	516,783	"
市道第1061号線拡幅整備事業	2	3	30.63	1,409,980	2	122,283	"
市道第1028号線改良事業	1	2	40.47	6,180,750	1	728,775	市道改良事業
合 計	21	29	2,102.42	218,875,543	12	4,137,304	